

2019年3月27日

(臨床研究に関するお知らせ)

和歌山県立医科大学附属病院に、悪性黒色腫で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学人体病理学講座では、以下の他施設共同臨床研究を実施しています。ここにご案内するのは、過去の診療情報や検査データ等を振り返り解析する「後ろ向き観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。すでに存在する情報を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

1. 研究課題名

神経堤幹細胞腫瘍に対する多施設共同後ろ向き観察研究

2. 研究責任者

Massachusetts General Hospital, Department of Pathology, Associate Professor, Mai P. Hoang

3. 研究の目的

神経堤幹細胞腫瘍の一種である悪性黒色腫は、予後予測や病理診断がしばしば難しい事があります。本研究では粘膜の悪性黒色腫を遺伝子学のおよび免疫組織化学的に解析して、予後予測や病理診断に役立つバイオマーカーを検索します。

4. 研究の概要

(1) 対象となる患者さん

悪性黒色腫の患者さんで、平成13年1月1日から平成31年2月28日までの期間中に、生検あるいは切除治療を受けた方

(2) 利用させて頂く情報

この研究で利用させて頂くデータは、上記4.(1)に該当する患者さんの年齢、性別、臨床経過、切除した腫瘍の組織に関する情報です。

(3) 方法

米国の Massachusetts General Hospital の病理部を中央研究機関とした多施設共同研究です。対象疾患を病理部門システムから抽出し、抽出した症例の腫瘍組織の一部および臨床データを中央研究機関に送ります。

5. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

6. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、患者さんには、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させて頂きます。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

7. 問い合わせ先

和歌山市紀三井寺 811-1

和歌山県立医科大学人体病理学講座 担当医師 藤本正数